

テーマ 命を守る教育

生き残るための避難訓練スマホゲーム

NPO目指す かなざわサバイ部 スタート部門

共に学び、未来を創る人を育むまち
～人づくり～

1. 団体について(メンバーの紹介)

(1) 市内関係者 3 名

代 表 三上 史朗 (世界で2番めにおいしい焼きたてメロンパンアイス合同会社 代表)
松下 浩一 (松下教育研究所 代表)
芝田 泰基 (金沢市スケートボード協会理事長)

(2) その他 3 名

中野 晴行 (株式会社ジョイテル代表取締役)
車 幸弘 (石川県 県議)
奥田 和也 (奥能登元気プロジェクト 代表)



中野晴行



車 幸弘



奥田和也



芝田泰基



松下浩一



三上史朗

・かなざわサバイ部 設立の目的 生き残れる能力を育てる

災害発生時の危機を遊びで体験！

“万が一”のその時に備え

正しく逃げることができる

思考を身につける訓練を

スマホゲームで行い

生き残る能力を持った子供を育てたい

団体の活動概要、PR、今回応募した理由 等

子育てが大好きな大人が、災害時に子供が生き残るための知識と経験をスマホゲームで教育します。

僕が小学生のときに地震が起きた

それは独りの時だった！その時、すぐ高台に走った！

逃げなかった友達がいたが亡くなってしまった。

子供も命を守る行動を自分でとらなくてはいけない！

そのためには普段から避難する訓練とイメージトレーニングを何度もしなくてはいけなかったと思った。

この言葉は東日本大震災で生き残った
当時小学生だった青年のコメントです

この青年は成長しパソコンで模擬避難訓練ができるゲームを作った



その青年のゲームを見て感じた課題

普段から楽しみながら避難訓練を繰り返し、
身を守る行動を身につけなくてはならない

地震 津波 洪水

雷 大雪

これらの自然災害から
正しく身を守る方法を
スマホゲームにする



なぜスマホゲームなのでしょう？

子供は好き

慣れている

喜んでやる



便利

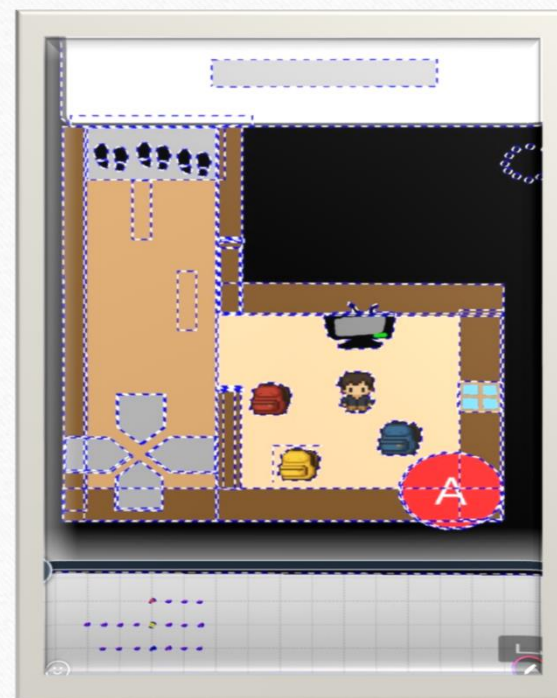
楽しい

遊びながら学べる

災害発生時に携帯できる

プログラムを学びゲームを自作
子供がプログラムを学ぶきっかけ

自分でプログラムを組み
自分が使うスマホで避難訓練ゲーム



僕が独りの時に地震が発生した！
その時！すぐ高台に走った！
逃げなかった友達は一人もいない！
子供も命を守る行動を自分でとらなくてはいけない！
そのためには普段から避難訓練やイメージトレーニング
を何度もしていた！

みんなが生き残るためには



すぐ逃げろ！を身に付けろ！

基本のスマホゲーム開発協力者



松下 浩一（松下教育研究所 代表）

株式会社ワンダーアカデミー

地域の防災士さん

基本のスマホゲーム実施会場

フリースクール パトリ決定
(金沢市保古町)

朝霧台小学校 TGM (交渉中)

子供食堂 知人より紹介今週面談予定

田上会館 (連長さん訪問予定)



年間スケジュール案

事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ソフト開発	開発	試作品テスト								
フリースクールでの開催			交渉	開催案内	開催					
一般募集開催				打合せ	開催案内	開催案内	開催			
検証結果の議論								議論・まとめ		